



パレットとやま

国道8号 中島高架橋【昭和47年架橋、富山県富山市中島1丁目】 コンクリート片落下に伴う緊急点検の結果について

【経緯】

- ・平成21年11月1日(日)AM8:45頃に中島高架橋(下り)沿道住民の方からの通報を受け、現地確認したところ、下り側P8付近でコンクリート片の落下を確認。
- ・このコンクリート片落下による一般の方のけが人等の被害は無い。

別紙1, 2参照



【緊急点検結果】

- ・ただちに、同橋の他の部分を含め緊急点検(たたき落とし点検)を実施。
- ・今回のコンクリート剥離については、主桁側面と保護コンクリートの中に水がまわり、PC鋼材定着具が腐食・膨張し、剥離等が発生したことが原因

別紙3参照



【対策】

- ・対策完了まで安全を見て、ネット等を設置済み。
- ・コンクリートが剥離し、落下した箇所については、構造上問題の無い箇所であったため、剥離等している箇所を除去し、修復を実施予定。

別紙4参照



対策状況



問 い 合 わ せ



国土交通省

富山河川国道事務所

道路管理第二課 Tel.076-443-4701 (代)

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

富山国道維持出張所 Tel.076-438-5101

なかじまこうかきょう

国道8号 中島高架橋【富山県富山市中島1丁目】

コンクリート片落下について

確認日時:平成21年11月1日(日)AM8:45頃

概要:・中島高架橋(下り)沿道住民の方からの、「花に水をやっていたらコンクリート片が落ちてきた」旨の通報(事務所あて電話)を受け、現地確認。

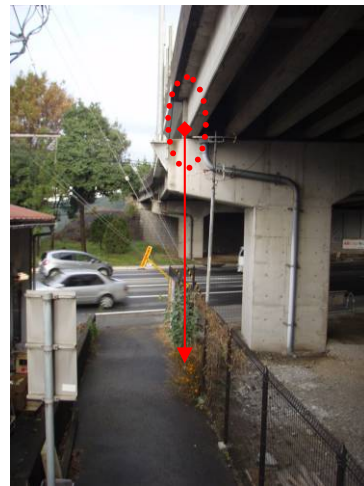
- ・下り側P8附近の主桁横締め保護コンクリート部からのコンクリート片落下を確認。
- ・同橋梁の他の部分を含めた、たたき落とし点検を実施(その他の異常を認めず)。

第三者等の被害:無

●位置図



●コンクリート片落下箇所周辺状況



●落下箇所



●落下したコンクリート片



事故概要(2/2)

別紙2

中島高架橋(下り)諸元:

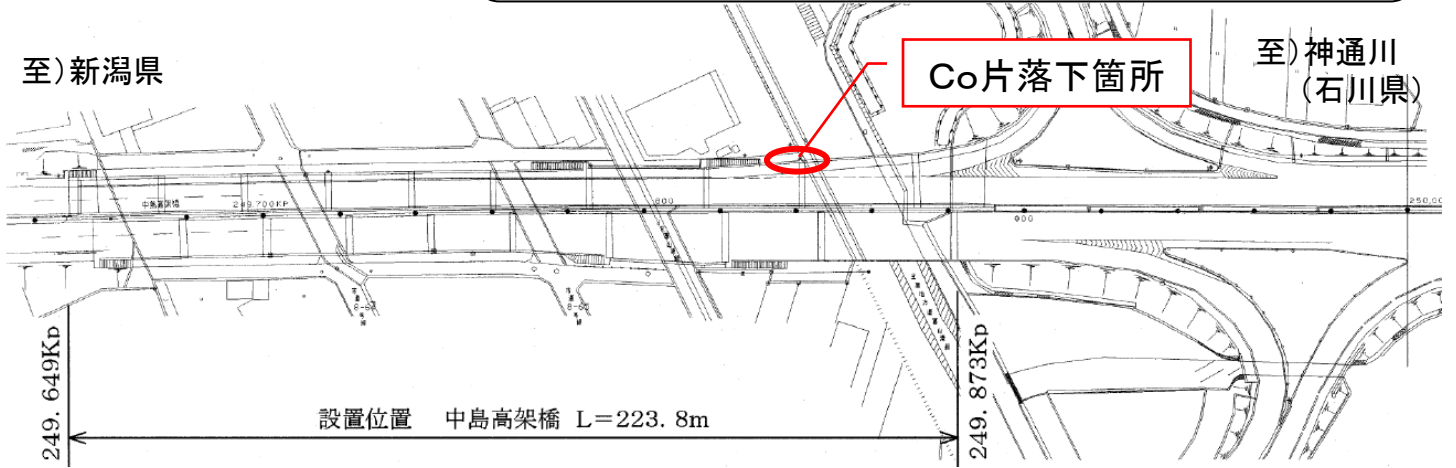
1972年(S47年架設) 橋長L=238m

10径間(単純PCプレテンT桁橋5連,単純PCポステンT桁橋4連,

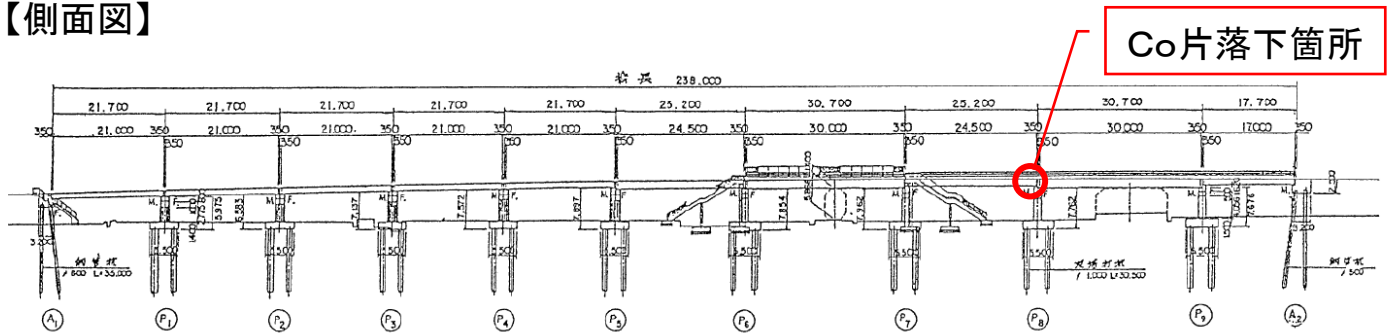
単純PCプレテンT桁橋, T桁@横断方向8本)

交通量:52,912台/日 大型車混入率:22.4%

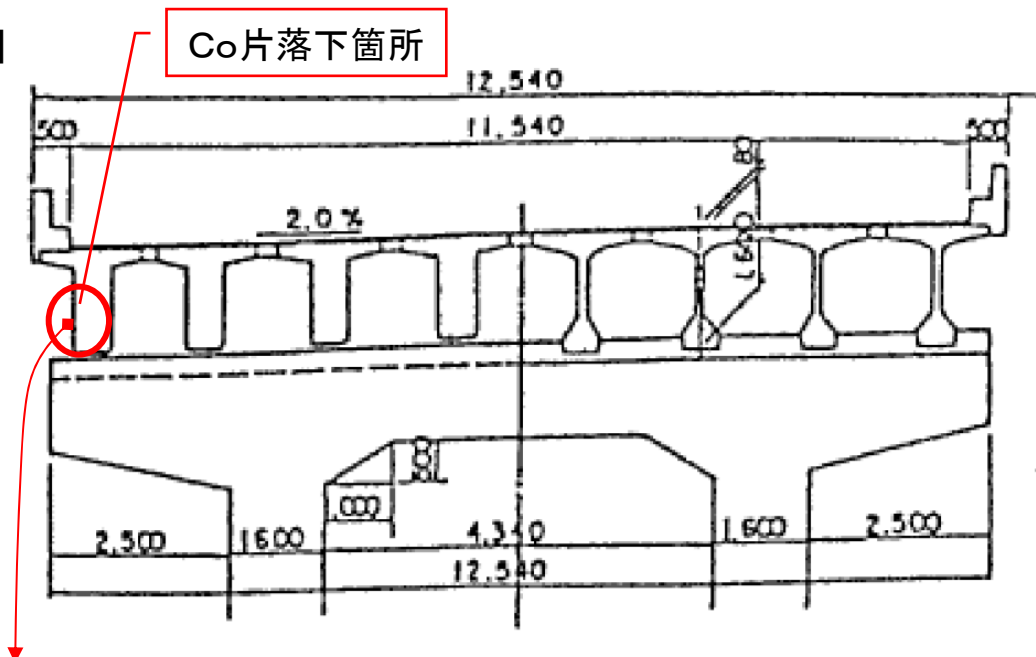
【平面図】



【側面図】



【断面図】



- ・ 昭和47年に架橋された橋梁であり、30年以上経過している。
- ・ 基本的には、5年に一度の定期点検を実施してきており、直近では平成19年度(平成20年2～3月)に定期点検を実施。
- ・ 今回の損傷箇所については、平成19年度の定期点検では損傷は報告されていない。

- ・ 保護コンクリートについては、打音検査(ハンマーによるたたき検査)の結果、浮きなどを確認。
- ・ PC鋼材定着具については、腐食等が見られるが、鋼材自体の減肉等には至っていない。
(保護コンクリート除去時に再度詳細な調査を実施予定)



打音調査状況

- ・ 原因としては、主桁側面と保護コンクリートの間に水がまわり、PC鋼材定着具が腐食・膨張して、保護コンクリートに浮きや剥離が生じたことが原因
(コンクリートの劣化や鋼材の腐食が想定外に早く進んだものと思われる。)

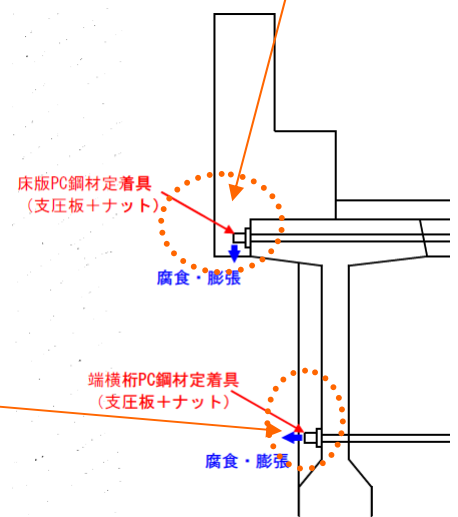
- ・ その他箇所についても、うき等の調査を実施したところ、床版水切り部等で剥離などを確認した。
(剥離などの落下の可能性のある部分については、除去済み)



床版水切り部の状況

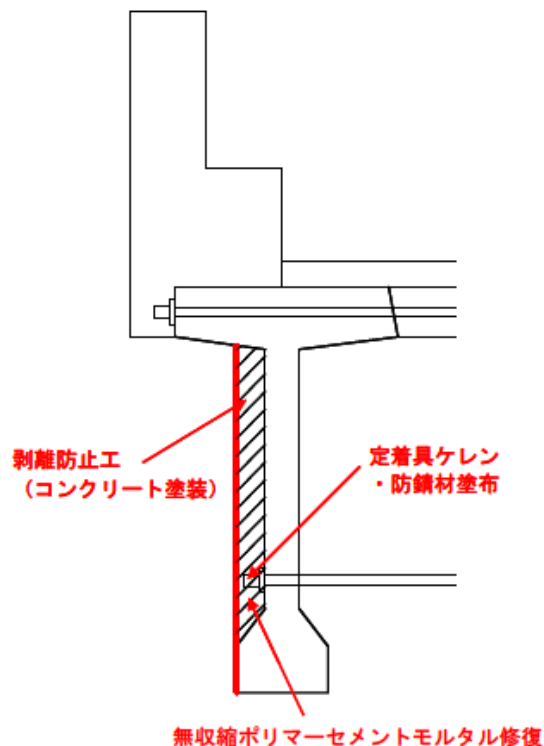


保護コンクリートの剥離状況



対策

- ・ 応急的な対策としては、剥離などが発生した保護コンクリートを除去し、修復を実施。
- ・ 腐食しているPC鋼材の定着具については、ケレンを実施し、防錆剤を塗布。
(この作業の際に、PC鋼材の損傷状況も再度確認予定)
- ・ 剥離防止工として、コンクリート塗装を実施。
- ・ なお、保護コンクリート除去時に、どのような経路・原因で水がまわってきたのか等を再度詳細調査を実施し、必要に応じて、漏水対策等を実施予定。



現在の状況

- ・ 詳細調査やたたき落とし点検をし、コンクリートの剥落などが発生しそうな異常は認められなかったが、今回の剥落箇所を含めた高架橋の対策の完了まで、万が一の第三者への被害が無いようにネット等を設置済み。

